令和　3　年度事業評価シート

No.1

PLAN(計画)　　自己評価

事務事業番号	71

担当課	経営デザイン課	担当課長	中原　三千代
事業担当者	藤井　健太朗	一次評価者	藤野　孝一
事業区分	継続事業	事務事業評価の履歴	無
事務事業名	広報紙発行事業		
予算科目	2　款　1　項　2　目		
予算事業名	広報費		
総合計画での位置づけ（施策名）	まちづくりを共有できる情報発信・町民参加機会の拡大		
事業の性格	自治事務		
法令根拠等	–		
事業の対象	全住民・町内事業者		
事業の目的	行政情報を分かりやすく、迅速かつ正確に町民の皆さまおよび町内事業所に提供し、町政への理解と参画意識の醸成を図る。		
実施期間	開始年度：昭和　46　年度から		
	終了年度：令和　　年度まで		
事業の内容	・広報紙名　広報ひさやま ・発行時期　毎月1回、月末発行 ・サイズ　A4版 ・ページ　16～28ページ ・発行部数　3,350部（10月号以降　3,400部）		

目的達成の指標（成果指標）

広報紙の配付率（単位：%）

区分 年度	単位	2　年度	3　年度	4　年度	5年度
目標	%	99	99	99	99
実績	%	99	99		

指標設定の考え方	町の情報を提供、発行した広報紙を手にとってもらう必要があるため、発行分のうち何%が人の手に渡ったかを成果指標とする。
計画時の懸案事項	町政への参画意識を醸成する紙面づくりを目指すため、情報発信の内容について再検討し、その有効性を高める必要がある。
計画時の懸案事項への対応	・業務委託を行い、色使いやユニバーサルデザインフォント、文字の大きさに等に配慮した読みやすい紙面、また、つい手に読んでみたくなるようなデザインの紙面づくりを目指す。 ・久山町の広報紙でしか伝えることのできない情報発信を行い、町の魅力発信に寄与する。

PLAN（計画）

事務量及び財政内訳

町民一人当たり負担額　951 円

※負担額には国費・県費は含まれていません。（千円）

項目		2 年度予算	3 年度予算	4 年度予算	5 年度予算
事務量	① 人工数	0.43	0.74	0.74	0.74
	② 人件費単価	7,652	7,179	7,898	7,898
	③ 補助事業人件費	0	0	0	0
	人件費（①×②－③）	3,290	5,312	5,844	5,844
事業費	直接事業費	3671	3671	3943	3943
	人件費	3,290	5,312	5,844	5,844
	合計	6,961	8,983	9,787	9,787
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	187	193	204	204
	地方債	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
	一般財源	6,774	8,790	9,583	9,583
	合計	6,961	8,983	9,787	9,787

事業費計画

（千円）

区分／年度	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
目標	3,671	3,671	3,943	3,943	4,977
実績	3,669	3,622			

事業活動の実績（活動指標）

※ 上段には目標値を、下段には実績値をそれぞれ記入してください。

項目	単位	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度
Townnews（町の話題）の掲載数	回	40	40	40	40
		32	52		
特集の掲載数	回	6	6	6	6
		7	8		
広報紙発行月数	月	12	12	12	12
		12	12		
広報紙のホームページ・Facebook公開月数	月	12	12	12	12
		12	12		

DO（実施）

事務量及び財政内訳

町民一人当たり負担額　932 円

※負担額には国費・県費は含まれていません。（千円）

項目		2 年度決算	3 年度予算	3 年度決算	4 年度予算
事務量	① 人工数	0.43	0.74	0.74	0.74
	② 人件費単価	7,652	7,179	7,022	7,898
	③ 補助事業人件費	0	0	0	0
	人件費（①×②－③）	3,290	5,312	5,196	5,844
事業費	直接事業費	3669	3671	3622	3943
	人件費	3,290	5,312	5,196	5,844
	合計	6,959	8,983	8,818	9,787
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	195	193	203	204
	地方債	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
	一般財源	6,764	8,790	8,615	9,583
	合計	6,959	8,983	8,818	9,787

実施備忘録

CHECK（評価）

No.3

自己評価　評価者　藤井　健太朗

5段階評価で評点を付けます。
5　大 ←→ 小　1　　↓

	評点	判定
1. そもそも必要な事業か？		
□ 町民のニーズが高い。ニーズが増加傾向である。	4	B
□ 緊急性が高く、即時に実施しなければならない。	4	
□ 実施しなければ町民生活に及ぼす影響が大きい。	4	
□ 町民生活や町のイメージアップの向上に寄与する。	4	
2. 町が実施する必要があるか？		
□ 町が実施主体となることが法令等により定められている。 **※該当する場合は左の□にチェックしてください。**		
□ 公権力行使、あるいは政策判断を伴い、民間等では実施できない。	4	B
□ 民間等や国・県で実施するよりも効果的である。	4	
□ 民間等あるいは国や県で類似事業を実施していない。	2	
3. 実施内容は適切か？		
①有効性		
□ 久山町総合計画基本計画の将来計画を実現するために有効な事業である。	3	C
□ 事業の手法・活動内容は適切である。	3	
□ 事業の成果達成状況や進捗状況は順調である。	3	
②効率性		
□ 事業費に見合った成果を上げている。	3	B
□ 外部委託等（指定管理者を含む）による効率化が図られている。	4	
□ 実施方法の工夫により効果を維持しながらコスト削減を図っている。	4	
③公平性・透明性		
□ 受益者負担について課題はない。（または、受益者負担を求めることが適当でない。）	3	C
□ 事業費に占める一般財源の額は妥当である。	3	
□ ホームページや広報を活用し、積極的に情報を公開している。	3	

今後の方向性　A・B＝目標達成できたもの　C・D＝目標達成できていないもの
□ A重点化（計画どおり進んでおり、コストを拡充し、更なる事業推進を図る）
☑ B現状維持（計画どおり進んでおり、現状のまま事業を進める）
□ C見直し
□ D廃止
□ E完了

C見直しの具体的内容
□ 実施方法の工夫
□ 事業の効率化
□ 受益者負担の適正化
□ 事業縮小
□ その他

4. 自己評価の理由（必要性、有効性、効率性、公平性・透明性の観点から）

広報紙の主な役割は、町内にお住いの方がに対して、主に行政情報を発信することであり、生活に及ぼす影響が大きく、重要な事業と言える。また、TOWNNEWS（町の話題）などを掲載することにより、町内だけでなく、町外の方に対する魅力発信にも担っていると考えられる。
そのため、老若男女問わず、さまざまな人が親しみやすい広報紙となるよう、業務委託を行い、一定のデザイン性を確保している。なお、広報紙を配布するだけでなく、今後も継続してホームページやLINE、マチイロ等にも公開し、さまざまな人に対して、情報発信を行っていく。

5. 成果実績の評価（今後の方向性等について具体的に）と課題認識

広報紙の配布率について、自治会（組合）を通した配布を行うことにより、その高さを維持している。今後も高い配布率を継続するために、組合加入率等を考慮しながら、その方法について検討していく必要がある。
また、行政情報の発信ツールとして、業務委託を行い、一定のデザイン性を確保した上で、配色やユニバーサルデザインフォント、文字の大きさをなどを工夫し、紙面を作成することができた。

CHECK（評価）

自己評価を基に基本施策の進捗状況と照らし合わせて評価を行う。

一次評価

評価者	藤野　孝一

5段階評価で評点を付けます。
5　大 ←→ 小　1

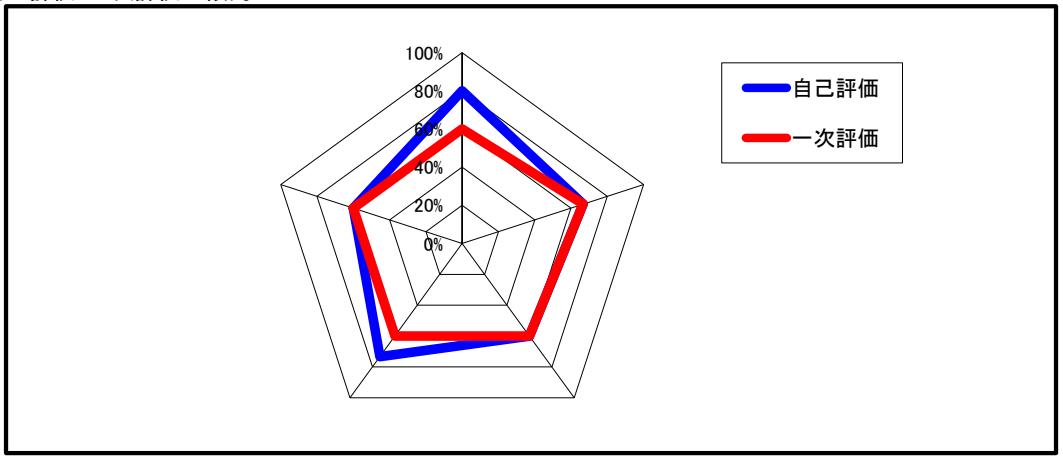
1. そもそも必要な事業か？	評点	判定
□ 町民のニーズが高い。ニーズが増加傾向である。	3	C
□ 緊急性が高く、即時に実施しなければならない。	3	
□ 実施しなければ町民生活に及ぼす影響が大きい。	3	
□ 町民生活や町のイメージアップの向上に寄与する。	3	
2. 町が実施する必要があるか？		
□ 町が実施主体となることが法令等により定められている。　※該当する場合は左の□にチェックしてください。		
□ 公権力行使、あるいは政策判断を伴い、民間等では実施できない。	4	B
□ 民間等や国・県で実施するよりも効果的である。	3	
□ 民間等あるいは国や県で類似事業を実施していない。	3	
3. 実施内容は適切か？		
①有効性		
□ 久山町総合計画基本計画の将来計画を実現するために有効な事業である。	3	C
□ 事業の手法・活動内容は適切である。	3	
□ 事業の成果達成状況や進捗状況は順調である。	3	
②効率性		
□ 事業費に見合った成果を上げている。	3	C
□ 外部委託等（指定管理者を含む）による効率化が図られている。	3	
□ 実施方法の工夫により効果を維持しながらコスト削減を図っている。	3	
③公平性・透明性		
□ 受益者負担について課題はない。（または、受益者負担を求めることが適当でない。）	3	C
□ 事業費に占める一般財源の額は妥当である。	3	
□ ホームページや広報を活用し、積極的に情報を公開している。	3	

今後の方向性	C見直しの具体的内容
A・B＝目標達成できたもの C・D＝目標達成できていないもの	
□ A重点化（計画どおり進んでおり、コストを拡充し、更なる事業推進を図る）	□ 実施方法の工夫
☑ B現状維持（計画どおり進んでおり、現状のまま事業を進める）	□ 事業の効率化
□ C見直し	□ 受益者負担の適正化
□ D廃止	□ 事業縮小
□ E完了	□ その他

一次評価の理由（今後の方向性等について具体的に）

今はいろいろな媒体での情報発信ができるので、情報の住み分けが必要になると思います。読みやすい文章を作ることはもちろんですが、報紙は比較的高齢者の利用が多いと思いますので、文字のポイントも検討する必要があると思います。

自己評価・一次評価の傾向



ACTION（評価・改善）

自己評価、一次評価の結果を踏まえ、実施体系の進捗状況と照らし合わせ評価を行う。

二次評価

評価者	中原　三千代

□ A以下の点について良好と評価し、コストを拡充し更なる事業推進を図る。

☑ B計画どおり、現状のまま事業を継続する。

広報だからこそできる情報発信を考え、住民の皆さまに親しんでいただける紙面づくりを行う。

□ C事業継続と判断するが、以下の課題を解決するため計画の見直しを行う。

□ D事業廃止と判断し、外部評価委員会に諮ることとする。

→ 外部評価委員会で評価する。
月　日開催予定

□ E事業の目的を達成し、事業完了したと判断する。

□ 一次評価は以下の点で問題がある又は判断されるため、一次評価の見直しを求める。

→ 一次評価をやり直し、
月　日までに提出すること。

□ 評価終了
□ 外部評価へ

ACTION（評価・改善）

自己評価、一次評価、二次評価の結果を踏まえ、実施体系の進捗状況と照らし合わせ評価を行う。

外部評価

今後の方向性	A・B＝目標達成できたもの C・D＝目標達成できていないもの
□	A重点化（計画どおり進んでおり、コストを拡充し、更なる事業推進を図る）
□	B現状維持（計画どおり進んでおり、現状のまま事業を進める）
□	C見直し
□	D廃止
□	E完了

C見直しの具体的内容
□ 実施方法の工夫
□ 事業の効率化
□ 受益者負担の適正化
□ 事業縮小
□ その他

評価		外部評価委員の意見

経営者会議

経営者評価	町長

今後の方向性	A・B＝目標達成できたもの C・D＝目標達成できていないもの
□	A重点化（計画どおり進んでおり、コストを拡充し、更なる事業推進を図る）
□	B現状維持（計画どおり進んでおり、現状のまま事業を進める）
□	C見直し
□	D廃止
□	E完了

C見直しの具体的内容
□ 実施方法の工夫
□ 事業の効率化
□ 受益者負担の適正化
□ 事業縮小
□ その他

評価		経営者会議の結果

令和　5　年度予算要求事項（今後の取り組み）